

願書テンプレワークシート

《手順1》まずは各項目を書き込み、願書に必要な要素を作りましょう。

志望校『慶應義塾幼稚舎・農大稲花』

A.家庭の教育方針

例：息子を育てるにあたっては、人との触れ合いを多くつくり、自分も他人もそれぞれに気持ちがあることを体感させ、自分の気持ちに折り合いをつけることが必要な場面があること、集団の中で自分の意見を皆のために役立てることを教えてきました。

1. 我が子を育てるにあたって、個人・夫婦で意識していることは？・経

験を多く積ませること

- ・興味のあることを尊重すること
- ・やりたいことは全部やる やったもん勝ち
- ・本人の意思を尊重する
- ・本人の好み、希望、嗜好、特性を伸ばす・みつけてやる・気付いてあげる・気持ちを汲み取る
- ・できること、やれることは自分でやる➡自立する力をつける
 - ・愛情（本人は大切に大事な存在であること）を言葉とスキンシップで伝えてきた

2. それはどうしてか？背景にある経験や価値観は何か？

- ・親の経験にとらわれず、我が子自身の様々な経験の積み重ねで興味の幅を広げてほしい。
その中で、好きなもの、面白いものを見つけてほしい。
- ・自分の好きなこと、楽しいと思えるもの（趣味でも可）を持っている大人になってほしいから。
そのようなことを仕事にしてほしい。
- ・知的探究心を育みたいと考えるため。年齢関係なく持ち続けられるものを子どもに残す

してやりたいため。

3.実際に我が子に対してどんな関わりをしてきたか？

- ・我が子が望むことや体験に対しては一緒になって楽しむ
- ・分かることは年齢・月齢関係なく一人前として接してきた(日常生活編)・興味を示したこと、やりたいと言ったことをやらせたり、できるように努めてきた・集中している時間や瞬間、自ら進んで取り掛かる様子を逃さぬよう、その時間は可能な限り尊重してきた。

4.その結果、どのような成長をしてきたか？(▶C-1,2やB-1とリンク)・何事もまず「やってみる」という姿勢を持てるようになった。その中で、興味を持った事柄に関しては探求していくことができるようになった。

- ・自分で学んだことや出来たことを披露することは自信に繋がり、自分なりの考えやロジックを持ちはじめていると感じる。

B.子どもに期待する将来像

例:私どもは、将来息子には社会に貢献する人間になってほしいと願っております。そのために、自分で考え行動する力と他者との協調する力が必要不可欠だと考えています。

1.どのような人材になってほしいか？(成人して社会に出る頃をイメージ)・自分自

身を尊重した上で、他者を尊重し大切にできる人間

- ・これまで貯めてきた原体験を基にして、自分だけではない、取り巻く人々・環境を助け、導くことができる人として生きて行ってほしい

例:私どもは、多感な小学生の間に、仲間たちと切磋琢磨する経験を積み重ねてほしいと考

えております。

22. 上記1のために、小学校時代にどうなっていて欲しいか？

どんな力を身につけ、どんな姿に成長し、どんな役割や働きを期待するか？ ・様々な考え、価値観を持つ友人を尊重するとともに、その中で自分自身の興味関心を 他者とともに伸ばしていけること

- ・興味関心を持った事柄はもちろん、幅広く触れた経験について、とことん深く追求できる原体験を積めること
- ・本物は何かを自分の目で確かめる目を養う体験
- ・人とのつながりや関わりの尊さを実体験として、豊かな人間関係を形成

C. 子どもの特性

例：息子は好奇心旺盛で積極性があります。自分の考えたことをやってみたいという気持ちが強く、家庭では自分で考えた実験をよくしています。■ 歳の時には、ミニ四駆にハマリ、 様々な乾電池メーカーがあることを知った息子は、それぞれでミニ四駆の速度に差分が出る のか検証 し続けました。大人から見るとお粗末な実験ではありましたが、自分の意思を貫き、やり遂げる逞しさがあります。

1. 親の目から見た子どもの特徴（長所、短所）

（長所）

- ・周りをよく見て、その時々によさわしい行動をとること
- ・友達と一緒にスポーツや活動をするときに楽しそうないい表情で取り組める ・保育園の活動（発表会 等）に向けて集中して気分を高めながら取り組める ・やってみようと思うことについては粘り強く諦めずに取り組む、やり抜く力

- ・年齢問わず、相手のことを思いやって接することができる
- ・好きなものへの探求心が強い
- ・何でもとりあえずやってみようという心意気
- ・過去の出来事をよく覚えている
- ・割と打たれ強い

(短所)

- ・特に集中しすぎると人の話が耳に入らない(入っていてもスルーしてしまう)・注意力、観察力、失くし物・探し物ものを見つけ出すことが弱い
- ・初めて見たことをそのまま真似することは不得手
- ・やってみようの前に、頭で色々考えがち、取り掛かりに時間がかかりがち・大雑把さが出る、できるのにやらない、丁寧にすることが不得手?

2.親以外の他人からよく言われること(=他人に伝わる我が子の良さ=強み)・他者を尊重することができる

- ・お年寄りや年少者を大切にできる
- ・粘り強い、諦めない
- ・真面目、しっかりと話を聞ける
- ・にこやかに楽しめる、奥ゆかしい
- ・自然を慈しむ

3.強みが顕著に表れる場面は?

・他者が困っているとき、トラブルにあるとき(お年寄りや年少者のサポートをするとき、お友だちが喧嘩しているとき)

4.物事は表裏一体。強みの裏にある、隠れた弱みは何か?

- ・他者を慮るため、自己主張を呑み込むことがある。
- ・利他的が過ぎ、自分は損をしてしまう。

5.弱みに対してどのようなフォローアップをしているか?

・自分の考えを伝えることの大切さを説き、恐れることなく思いを言葉にできるように 背中を押している

D.志望動機

例：貴校の〇〇活動は、年間を通して他学年と交流し、子どもにとって小さな社会を実感する良い教育だと捉えております。実践力の養成を掲げる貴校の目指すところは、我が家の理想と通づるものがあります。まさに息子に与えたい教育を体現しているのが貴校であり、息子にとって最善の環境であると確信し、貴校への入学を志願いたします。

1.あなたの考える志望校の魅力は？

- ・小学校6年間という、体も心も大きく成長し、人格形成の基礎となる時期に、他者との深い交流ができる経験を一貫して体得できること
- ・本物を追求することができる環境であること
- ・原体験に重きを置いていること

2.なぜ、我が子にとって志望校が良いと考えたのか？

- ・他者との深いかわりの中で、自身を尊重し、また、他者も尊重できる機会がある・自分の

思いや考えを物に表現したり、遊びに取り入れる意欲が強く、発想の芽となる

5

経験に根ざした創造の機会を得られると考えるため

3. 志望校の教育を受けることで、我が子に期待する成長は何か？(▶3-2とリンク)・自分を認め、他人を認め、多く人との関わりの中で社会を牽引する人間となること・自分の気づきや考えを他者と共有し、醸成する経験をすることで、他者を導くことができるようになること

- ・協働することの価値を知ること

《手順2》慶應幼稚舎や横浜初等部のようにフリーフォーマットの場合、テンプレートに各項目を当てこみ全体を整えます。例文で全体構成を確認して、実際に書いてみましょう。

D-1.志望動機の結論

例：私どもは貴校の〇〇な教育に魅力を感じ、志願いたします。

B-1.子どもに期待する将来像

例：私どもは、将来息子には社会に貢献する人間になってほしいと願っております。そのために、自分で考え行動する力と他者との協調する力が必要不可欠だと考えています。

A.家庭の教育方針

例：息子を育てるにあたっては、人との触れ合いを多くつくり、自分も他人もそれぞれに気持ちがあることを体感させ、自分の気持ちに折り合いをつけることが必要な場面があること、集団の中で自分の意見を皆のために役立てることを教えてきました。

C.我が子の特性

例：息子は好奇心旺盛で積極性があります。自分の考えたことをやってみたいという気持ちが強く、家庭では自分で考えた実験をよくしています。5歳の時には、ミニ四駆にハマリ、様々な乾電池メーカーがあることを知った息子は、それぞれでミニ四駆の速度に差分が出るのか検証し続けました。大人から見るとお粗末な実験ではありましたが、自分の意思を貫き、やり遂げる逞しさがあります。

B-2.小学生の時期に期待すること

例：私どもは、多感な小学生の間に、仲間たちと切磋琢磨する経験を積み重ねてほしいと考えております。

D-2.志望動機

例：貴校の〇〇活動は、年間を通して他学年と交流し、子どもにとって小さな社会を実感す

る良い教育だと捉えております。実践力の養成を掲げる貴校の目指すところは、我が家の理想と通づるものがあります。まさに息子に与えたい教育を体現しているのが貴校であり、息子にとって最善の環境であると確信し、貴校への入学を志願いたします。

D-1.志望動機の結論	私どもは、貴校の本物を追求(※1)し、他者と深く交流する一貫教育に魅力を感じ、志願いたします。
B-1.子どもに期待する将来像	私どもは、将来息子には、自分を取り巻く人々や環境を助け、導くことができる人間になってほしいと願っております。そのために、自分自身を尊重した上で、他者を尊重し大切にできる力が必要不可欠だと考えています。
A.家庭の教育方針	息子を育てるにあたっては、思いを実現させるために行動すること、知的探究心を育みたいと考えるため。年齢関係なく持ち続けられるものを子どもに残してやりたいため。
C.我が子の特性	周りをよく見て、その時々によさわしい行動をとることができる。
B-2.小学生の時期に期待すること	自分の気づきや考えを他者と共有し、醸成する経験をすることで、他者と協働することの価値を知り、そういった原体験を積み重ねてほしい。

D-2.志望動機	
----------	--

※1:「本物を追求する」に関連する記述を後続箇所に入れてほしいです。原案では自分と他人を尊重することが軸で話が展開しておりますので、冒頭で「本物を追求する」を入れるなら、その理由が読み進めればわかるような文章にしましょう。手順1のメモも拝見しましたが、本物を追求することがどんなお子様の成長に繋がり、期待する将来像へ繋がっていくのか、その必要性を言語化してみてください。D-1→B-1の流れは現状で良いと感じます。続きの作成を頑張ってください。

